



来週、いよいよ三者懇談へ!!

君たちの進路を決める大切な三者懇談会が16日(月)から始まります。

この週末の2日間(今日も入れれば3日間)、中学卒業後の3年間の過ごし方、将来のことなど家族ともう一度、話し合っておいてください。懇談後には「進路希望確認書」を提出してもらいます。これで進路希望が最終確定したことになります。中学校はこの確認書に基づいて、願書や推薦書などの書類を準備し、報告書の作成、高校への確認などの進路手続きに入ります。

今での進路希望調査とは、訳が違うのは分かりますよね? 三者懇談会は、この大切な書類を作成するための、最後の話し合いの場なのです。だから大切にしたいのです。

そこで、整理をするためのポイントをあげておきましょう。

まず、資料になるのは懇談会資料(Ⅱ期の成績、テストの素点、実力を知る手がかりとなる確認プログラム2回分の結果)、それと11月の進路希望調査を使います。(変更届を提出した人は、そちらです) そこで、出されたⅡ期の成績が・・・。

①成績が希望通り(以上)に上がった場合はどうしますか?

この場合は「あきらめていた進路希望がGO!に」とか「安心して挑戦できる!」などが考えられるでしょう。うれしい反面、別の悩みが出てくるかもしれません。(贅沢ですが)

②成績が変わらなかった場合はどうしますか? (あるいは思ったほど上がらなかった)

この場合は志望先を変更しますか? それとも、不合格も覚悟で、変更しませんか? 変更しない場合のポイントは『得点力』です。希望校の過去問題を、実際に時間通りにやってみて、何割ぐらいをとれるのか? この具体的なデータなくしてチャレンジは出来ません。

③成績が下がってしまった場合はどうしますか?

志望先の変更が必要でしょう。下がったという現実もそうですが、誰もが頑張るこのⅡ期に頑張りきれなかった状態の中で、私立受験までなら残り60日弱に、どんな取り組みが出来るのかが心配です。「頑張るから…」だけでは、入試・受験は済みません。

さらに、第1希望が決定したとして、入試に絶対は無いのですから、不幸にして希望先の受験がダメだった時のシミュレーションをしておき準備をしておく事が、さらなる事態の悪化を防いでくれます。この心配が、後に笑い話になれば、ベストなのです。

④併願校(セカンドベスト)はしっかりと選んでいますか? それも複数の候補はありますか?

⑤公立前期が×の時に、私立の併願先を選びますか? 中期にも出願しますか? などなど

特に、⑤の場合で「受かってから考える」は危険です。公立を受検する場合は、第1希望先であることが大原則です。合格・入学辞退はありません。なので、この場合はどうする、この場合はこうすると、前もって色々な想定をしておくことがとても大切です。特に、私立高校は経費もかかる訳ですから、保護者とも十分に相談しておくことは言うまでもないでしょう。

最後に いろいろ書きましたが、担任の先生も含めて、ベストな進路希望が決まるように三者懇談会を有効な場としてください。『受験(検)は、団体戦です。』保護者も、担任の先生をはじめとした大枝中学校も全力でサポートしますよ。でも、最後の最後はあなたですから。誰もが通らねばならないこの道、前向きに歩みきってください。